

コアコンセプト・施策の方向性（たたき台）

① 都心部の魅力と回遊性の向上で“+1トリップ”^{プラス}

- 1 まちづくりと一体となった歩きたくなる歩行環境の整備
(まちづくりとの連携、道路空間の再配分 等)
- 2 回遊を生み出すマチナカ交通体系の構築
(公共交通と自転車の利用環境向上、公共交通の乗換利便性向上 等)

② 公共交通を中心としたシームレスな交通ネットワークの構築

- 3 基幹公共交通ネットワークの機能強化
(交通結節機能の強化による乗換利便性の向上、環状型ネットワークの形成 等)
- 4 利用者にとって分かりやすく使いやすい公共交通サービスの充実・強化
(質の高い運行情報の提供、分かりやすく使いやすい料金システム、待合環境の向上 等)
- 5 地域の暮らしを支える交通環境の整備
(端末交通手段の利用環境向上、良好な市街地を形成する街路や道路の整備 等)

③ 誰もが安全に移動できる交通サービスの確保

- 6 誰もが移動しやすい交通環境の整備
(交通安全対策の推進、道路の福祉環境整備、公共施設・公共交通のバリアフリー化 等)
- 7 地域特性に応じた持続可能な移動手段の確保
(乗合タクシーの導入支援、新たな交通サービスの導入支援 等)

④ 物流・広域交流を支え災害に強い、強靱な道路ネットワークの構築

- 8 経済活動を支えるとともに、広島広域都市圏のヒトやモノが循環する基盤となる道路ネットワークの構築
(広域幹線道路ネットワークの整備促進、拠点地区を連絡する街路の整備 等)
- 9 市民の安心を支える災害に強い道路ネットワークの構築
(緊急輸送道路、広域避難路 等)